

応用課程の教育訓練効果と修了生の 評価に関する研究

はじめに

近年の経済・産業構造の転換、情報通信技術等の技術革新の進展、少子化・高齢化の急速な進展などにより大きく経済環境は変化しており、今後、益々その傾向は進むものと思われる。

このような中で、事業の新分野展開や製品等の高付加価値化に対応しうる「ものづくり」を担う高度な人材を育成することが急務となっている。専門性が高く高度な知識及び技能・技術を有し、創造性や柔軟性、製品の企画・開発や応用能力、生産管理能力等を持つ生産現場のリーダーとなる人材を育成するため、平成11年度より、これまでの2年制の「専門課程」に加え新たに2年制の「応用課程」を創設し、平成13年度までに全国10のブロックと職業能力開発総合大学校東京校の計11校に設置された。

応用課程が設置されてから5年目となり、全ての施設において修了生を送り出すことができ、企業の評価を問われることとなる。

本研究テーマ「応用課程の教育訓練効果と修了生の評価に関する研究」では、従来にない教育訓練システムで行われた応用課程について、将来の生産現場のリーダーとしての教育効果があったのかどうかについて修了生や企業からの意見をまとめたものである。今後の応用課程のあり方の資料として活用していただければ幸いである。

本研究の委員方々には貴重なご意見をいただき、また、修了生就職先企業及び関係施設にはご協力いただき深く謝意を表す次第である。

2004年3月

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター
所長 池本 喬三

研究プロジェクトメンバー（敬称略・順不同）

今 井 靖 北海道職業能力開発大学校
磯 山 要 三 関東職業能力開発大学校
福 元 基 職業能力開発総合大学校東京校
森 脇 一 雄 近畿職業能力開発大学校
阿 部 豊 四国職業能力開発大学校
平 塚 剛 一 九州職業能力開発大学校

事務局

今 村 耿 介 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
山 見 豊 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
松 崎 学 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
菊 池 真 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

目 次

| | |
|------------------------------|-----|
| 第1章 応用課程の概要 | 1 |
| 第1節 応用課程の開設 | 3 |
| 第2節 応用課程の教育訓練目標 | 4 |
| 第3節 応用課程の教育訓練システム | 4 |
| 第4節 応用課程の現状 | 6 |
| 第2章 調査の目的と結果の概要 | 7 |
| 第1節 調査の目的と概要 | 9 |
| 第2節 結果の概要 | 10 |
| 第3章 応用課程修了生へのアンケート調査結果 | 13 |
| 第1節 応用課程教育の評価 | 15 |
| 第2節 応用課程教育の効果 | 23 |
| 第3節 修了生の就業実態と職業キャリア | 25 |
| 第4節 修了生の意見・要望 | 33 |
| 第4章 就職先上司へのアンケート調査結果 | 37 |
| 第1節 応用課程修了生の評価 | 39 |
| 第2節 応用課程教育の評価 | 45 |
| 第3節 採用について | 47 |
| 第4節 能開大への相談援助 | 49 |
| 第5節 上司の方の意見・要望 | 51 |
| 第5章 修了生と上司の方のヒアリング | 55 |
| 第1節 ヒアリング実施概要 | 57 |
| 第2節 ヒアリングまとめ | 58 |
| 第6章 まとめ | 61 |
| 第1節 教育訓練効果 | 63 |
| 第2節 修了生の評価 | 64 |
| 資 料 | 65 |
| 1. 応用課程の設置科及び開発課題例 | 67 |
| 2. 修了生から後輩へのメッセージ | 81 |
| 3. ヒアリング報告 | 93 |
| 4. アンケート調査票 | 119 |

